



カケハシ・プロジェクト（米国） さくらプログラム招へいの記録

1. プログラム概要

【目的】毎年 3 月から 4 月にワシントン D.C.で開催される日米友好親善を祝う祭典「全米桜祭り（National Cherry Blossom Festival）」で実施される、州協会全米協議会主催の交流事業「さくらプログラム」の参加者代表が、東京都と地方都市を訪問し、人的交流や視察を通じて日本の文化や社会について理解を深め、日本の魅力を積極的に対外発信してもらうことを主目的として実施しました。

【参加者】2022 年全米さくらの女王（社会人）及び 2023 年全米さくらの準女王（大学院生）各 1 名 計 2 名

【訪問地】東京都、京都府

【日程】

■ プレプログラム（オンライン事前学習）

2 月 22 日（木曜日） 【来日前（渡航前）オリエンテーション】事業目的・ミッション、日程説明
渡航上の注意、新型コロナウイルス感染症対策等

来日までの指定期間 【動画視聴】講義「日本と国連」、日本理解講義（Web Japan より選択）

■ 招へいプログラム：

2 月 27 日（火曜日） 羽田空港より入国

2 月 28 日（水曜日） 【視察】明治神宮、原宿（日本のポップカルチャー）

【視察】百段階段（ホテル雅叙園東京）

【意見交換】公益財団法人 日本さくらの会

【視察】浅草

2 月 29 日（木曜日） 【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 穂坂 泰 氏

【日本文化体験・視察】小津史料館 紙漉き体験（株式会社小津商店）

東京都から京都府へ移動

3 月 1 日（金曜日） 【視察・意見交換】女性活躍支援拠点 京都ウィメンズベース、京都府男女
共同参画センターらら京都、マザーズジョブカフェ

【視察】淀水路の河津桜

【文化体験】抹茶・生八つ橋体験（八つ橋庵とししゅうのやかた）

【ホストファミリー対面式】

3 月 2 日（土曜日） 【ホームステイ】亀岡市 1 家庭

3 月 3 日（日曜日） 【ホストファミリー歓送会】

【表敬訪問】亀岡市長 桂川 孝裕 氏
 亀岡市桜植樹セレモニー（川の駅・亀岡水辺公園）、亀岡市内視察、
 亀岡市長との昼食懇談

【視察】天龍寺・嵐山散策

3月4日（月曜日）

京都府から東京都へ移動

【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画（アクション・プラン）発表

【表敬訪問】内閣総理大臣夫人 岸田 裕子 氏

【視察】お台場 ダイバーシティ東京プラザ

3月5日（火曜日）

羽田空港より出国

2. 記録写真

招へいプログラム

	
2月28日【視察】百段階段（ホテル雅叙園東京）	2月28日【意見交換】公益財団法人日本さくらの会
	
2月29日【表敬訪問】外務省 外務大臣政務官 穂坂 泰 氏	2月29日【日本文化体験・視察】小津史料館 紙漉き体験（株式会社小津商店）
	
3月1日【意見交換】京都ウィメンズベース	3月1日【視察】淀水路の河津桜

	
3月1日【文化体験】抹茶／生八つ橋体験	3月1日～3日【ホームステイ】
	
3月3日【表敬訪問】亀岡市長 桂川 孝裕 氏	3月4日【報告会】記念撮影

2. 参加者の感想（抜粋）

◆ 大学院生

プログラム中で、最も印象的だったのは、ホームステイ中に亀岡市内の高校を訪れたことです。授業に参加し、生徒や教育関係者と交流したことで、日本の教育システムについて貴重な洞察を得るとともに、有意義な異文化間のつながりを育むことができました。さらに、京都ウィメンズベースの視察では、日本の企業文化を肌で感じることができ、アイデアや最良の事例など意見交換しながら、イノベーションや熱心さを目の当たりにすることで強い印象を受け、グローバルなビジネス慣行に対する理解を深められました。さらに、表敬訪問や亀岡市関係者との会合など、地域のプロジェクトに参加することで、地域のリーダーと有意義な関わりを持ち、日本の外交・市民活動に関する理解を深めることができました。

◆ 社会人

このプログラムについて、言葉では表現できないほど満足しています。忙しい日々でしたが、よく考えられた内容で、楽しめる内容から真剣に考えさせられるものまで、様々な要素が取り入れられたプログラムでした。日本の社会、習慣、規範を強く感じることができる内容だったことも有難いです。このプログラムに携わった人たちには、どれだけ感謝してもしきれません。彼らもまた日本の素晴らしい大使です。

4. 受入れ側の感想（抜粋）

◆ 表敬先

今回、亀岡市に滞在し、その間ホストファミリーや市民との交流でお互いの文化や社会、考え方の違いについて双方理解を深めました。特に、「桜」の大切さに携わる話が何回も話題に上がり、意味深い交流が果たせたと思います。

◆ ホストファミリー

全米さくらの女王、準女王ということで、見た目だけでなくマナーや話し方、人への気の遣い方など様々な点で見習うべき点がありました。子どもにとっては、生の英語を聞いたり話したりするいい機会になりました。二人とも子どもと仲良く接して下さってお互い言葉の壁を越えてコミュニケーションをとることが出来ました。今後もホームステイを受け入れていきたいと思っています。

5. 参加者の対外発信（抜粋）、報道事例等

	
2024 年 3 月 2 日（Instagram） 今朝は京都ウィメンズベースを視察しました。素晴らしい活動内容でした。 この団体は、職業訓練や職業案内、無料の法律相談、DV 被害者や子どもの支援などを通して、京都の女性たちの活動を支援しています。	2024 年 3 月 30 日（Instagram） カケハシ・プログラムを通じて得られた貴重な機会に心から感謝しています。日本文化に深く没頭でき、個人的な成長をもたらした変革的な旅であり、私が想像もできなかった方法で日本と日本人に関する理解を豊かにするものでした。人生を変える経験により視野を広げることができたこと、国境を超えるつながりを育くめたことに心より感謝しています。 これからもカケハシ（架け橋）の精神で、国と文化の架け橋になれることを楽しみにしています。

 2024年3月4日（京都新聞） 花を通じた親善 国境を越えて 全米さくらの女王 亀岡にしだれ桜 千代川町の「川の駅」住民と交流 桜を通じた親善のため、米国から来日中の全米さくらの女王と準女王が亀岡市を訪問し、千代川町の「川の駅・亀岡水辺公園」でしだれ桜の植樹に参加し、地元住民と交流を深めました。 （中略） 2人は「咲いた花を見に戻ってきたい」「日本で浸った美しさを米国で共有する」と語りました。	 2024年3月5日（亀岡市役所のFacebook） 全米さくらの女王・準女王と一緒に、川の駅・亀岡水辺公園に桜を植樹しました。 今回は、対日理解促進交流プログラム カケハシ・プロジェクトで東京都や京都市などを訪問する中で、亀岡市にホームステイをされました。女王からは「亀岡市は自然に溢れていて素敵な場所であり、人々がとても優しいと思います。また、亀岡市の桜が満開の時に訪れたいです。」と挨拶を頂きました。 最後に若木が、川の駅・亀岡水辺公園とともに成長・繁栄していくことを願って、亀岡市長らと一緒に植樹を行いました。
---	---

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

訪問地：東京都、京都府 参加者2名が発表

	
【訪日中の学び】 文化の多様性と伝統、地域社会との関わりとホスピタリティ、そして、自然と季節の美しさなど多くを学びました。日本での滞在は、自分自身に挑戦し、視野を広げ、世界と自分自身に対	【訪日中の学び】 ・公共交通機関、自動販売機、その他の技術的側面の充実。 ・日本人の公共の場所や地域社会への配慮、環境保全への高い意識。

する理解を深める無数の機会を与えてくれ、個人的な成長のための重要な糧になりました。 【アクション・プラン】 地元の学校、公民館、文化団体と協力して、文化交流プログラム、語学ワークショップ、国際フェスティバルなどを開催します。日本の学校との学生交流プログラムやチャット交流を促進し、青少年間の文化交流と友好構築の機会を提供します。	【アクション・プラン】 下記の活動を通して、国際関係を築くためにいかにカケハシ・プロジェクトと桜が大切であるか、日本での私の経験などを広く伝えていきます。 ・ワシントン DC の新聞コラム欄にエッセイを寄稿 ・女性のリーダーシップスキル向上や地域社会への奉仕活動をする非営利団体ワシントン・ジュニア・リーグにて、日本での経験や日本とのさらなる協力の機会について話し合う昼食会の開催 ・日本のお菓子交換会の開催 ・自身がつながるコミュニティ内で日本のことが話題になるよう、SNS への定期的な投稿
---	--

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）